

令和 7 年（2025 年）12 月 14 日
教育委員会事務局内 学校施設管理課

12 月 14 日（日）開催 第 1 回意見交換会（熊野田小・第三中）議事録について

開催日時：令和 7 年（2025 年）12 月 14 日 10 時 30 分～11 時 50 分

開催場所：豊中市立第三中学校 体育館（豊中市栗ヶ丘町 1-1）

意見の概要と市の返答

No.	意見の概要	市の返答
1	大曽公園を利用した拠点校方式には、反対です。大曽公園は歴史的な重みがあり単なる空き地ではありません。地域コミュニティにとっても重要な役割を担っている場所です。	公園に対する地域の皆様の強い思いや歴史的な背景等を十分に認識しながら、今後の検討を進めてまいります。
2	大曽公園への校舎の建設については、過去の大門公園における事例も踏まえ、騒音・振動の影響や公園利用への影響、通学距離や校区変更の課題などを十分に検討する必要があると考えます。第三中学校の歴史や地域との関わりを踏まえ、段階を踏んで検討を進めていただきたいと思います。	仮に、大曽公園に校舎を建設することになる場合は、工事の実施にあたり、近隣の皆様への影響をできる限り抑えられるよう配慮する必要があると認識しております。 また、大曽公園と第三中敷地を交換することの可否については、第三中敷地内に同規模の公園機能を確保することができれば、法的には可能であると考えています。一方で、公園と学校敷地の交換案は、あくまで採用し得る案のうちの一つであるという認識です。第三中及び熊野田小の建て替え手法については、地域の皆様からのご意見を伺いながら検討を進めてまいります。

3	中学生を中心に据えた学校づくりを進めるとともに、地域に根付く伝統を大切にしながら、学校をより良くしていくことが重要だと思います。施設整備だけでなく教育内容の充実を重視し、将来に向けたモデルとなるような学校づくりを目指してほしいです。	子どもたちにどのような教育を提供していくのかという視点を大切にし、その実現に必要な教育環境の整備を進めてまいります。
4	大曽公園との用地交換には反対です。 第三中学校の跡地に公園を設置することと、大曽公園を活用することでは意味合いが異なると思います。資料中の「公園等」の内容や、大曽公園を活用する場合の課題・デメリット、環境や騒音への影響について具体的に示していただきたいです。公園への校舎の建設は、環境の改変を伴うものであり、デメリットが大きいうえに、居住環境の変化により、住み続けることが難しいと感じる方が多くなると思います。	資料4 ページ目については、学校整備に関する一般的な考え方を例示したものです。ご指摘のとおり、第三中学校に当てはめた場合にどのような影響や課題があるかについては、今後より具体的に情報提供させていただきます。 また、資料中の「公園等」の「等」については、第三中学校区内では大曽公園や大門公園などが該当しますが、一般論としては民間所有地を含む仮設校舎の設置が可能な用地を指しています。こちらについては、より分かりやすい表現となるよう資料の修正を検討してまいります。 なお、用地交換を行う場合、大曽公園がなくなるように受け止められますが、公園を廃止する場合には、規模及び機能が同程度の代替公園を確保する必要があります。仮に用地交換を行う場合には、第三中学校敷地内に公園機能を移転することを想定しています。 環境の変化や騒音等に対するご懸念につきましては真摯に受け止めており、今後、地域の皆様への影響についてもお示ししながら検討を進めてまいります。
5	何年かけて住民の同意を得るのですか。いつまでに結論を出し、いつ工事を実施するのかが見えず、納得できません。住民説明会も1時間では十分に意見を聴くことができないと思います。現在の検討状況について説明してほしいです。	学校施設の建て替えについては、施設の状態や安全性等を踏まえながら、築後 80 年程度を一つの目安として進めているところであり、熊野田小及び第三中についても、同様の考え方のもとで建て替えをめざすこととなります。熊野田小学校及び第三中学校は、築後 60 年を経過しており、今後も安全で良好な教育環境を確保していくた

		めには、建て替えについて検討する必要があると考えています。また、小学校は地域活動や防災の拠点としての役割も担っていることから、こうした点も踏まえ、引き続き地域の皆様との意見交換を重ねながら検討を進めてまいります。 なお、現時点において大曾公園の活用が決定しているものではありません。今後は地域の皆様に加え、在籍する児童・生徒の保護者の皆様のご意見も伺いながら、検討を進めてまいります。
6	建替えに反対するものではありませんが、現状や課題について十分な説明がないため、意見を述べるのが難しいです。	現在、学校の建て替えに向けて、主に次のような建て替え手法を検討しています。 ① 既存校舎の敷地内で建て替えを行う方法（グラウンドと校舎を入れ替える方法） ② 仮設校舎を活用しながら建て替えを行う方法 ③ 公園を活用した建て替えを行う方法（用地交換を含む） 一方、①及び②の手法では、工事期間中にグラウンドの利用が制限されるなど、教育活動への影響が生じることが課題として考えられます。 また、第三中学校は築年数が経過しており、今後も子どもたちの安全・安心な学習環境を確保していくためには、建て替えについて検討していく必要があると考えています。
7	将来的な話になるかと思いますが、子どもが「この地域で学びたい」と思える学校にしてほしいです。また、今後学校に通うことになる子どもたちや、その保護者の意見を聴く機会を設けてほしいです。	将来学校に通う子どもたちや保護者の皆様の意見を聴くことの重要性については、深く認識しております。方法については、今後検討してまいります。

8	本計画は、子どもたちのためのものであるべきだと考えますが、現在の周知方法では情報が十分に行き届いておらず、多くの地域住民が計画を知らない状況です。また、計画の進め方や情報公開が分かりにくく、案内が直前であったことにも不安を感じています。今後は、より幅広い情報共有と意見を聴く機会を設けてほしいです。	広報紙による周知は行っておりませんでしたが、ご意見を踏まえ、今後はより多くの方に情報が届く周知方法について検討してまいります。引き続き、地域の皆様との対話を重ねるため、改めて説明や意見交換の機会を設けてまいります。
9	学校の候補地や今後の学びの場のあり方については、地域の多様な意見を丁寧に聴くべきだと考えます。また、大曾公園がゲートボールなど地域活動の場として利用されている現状を踏まえると、学校との共存には地域の理解が不可欠だと考えます。	今回の意見交換会をもって検討を終えるものではなく、今後も継続的に情報共有や意見交換の機会を設けながら、地域の皆様との対話を重ねてまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。